

# 目指せ！ 平成維新



## WHO'SWHO

江田憲司（えだ・けんじ）1956年岡山県生まれ。東大法学部卒業。通産省入省。ハーバード大研究員、大臣秘書官等を経て橋本内閣の首相秘書官。中央省庁再編や財政再建、普天間・北方領土返還等に携わる。完全無所属で衆院議員を務め、09年8月にみんなの党を結党。幹事長に就任。現在3期目。

背景には権力闘争  
巨額の利権あさり

大連立！大連立！大連立！  
菅退陣表明を受けて急浮上してきましたね。まあ、こんな話が出てきたら「胡散臭い」と疑ってかかった方が良いでしょう。

「復旧・復興に与野党こえて協力してほしい」。確かにそれが国民の声でしょう。ならば、みんなの党が提案しているように、大連立なんかしなくとも、ちゃんと権限とお金を付与した復興院を現地に作って、そこに与野党の党首クラスが参画して即断即決、被災地のニーズに応じて迅速的確に政策を実行していけば良い。

政界では「魑魅魍魎（ちみもつりょう）が跳梁跋扈（ちようりょうぼうこ）（ちようりょうぼうこ）」すると言われます。難しい漢字が並んでいますが、要は、お化けのようなものが夜な夜な徘徊する。そう、大連立の背景には、国民不在の権力闘争やポスト欲にかられた大臣病、10兆とも20兆円ともいわれる復興利権あさりがあるんですよ。どうしようもないですね、こんな政治家は。

自民党が駄目だから民主党に政権交代させたのに、この体たらく。だから国民の皆さんが、民主党でも自民党でもいいから早く物事を進めてくれよ！と思っ

## 「胡散臭い」大連立には反対です

しかし、ちよつと考えてもみてください。連立というのは内閣を一緒に作るってことです。具体的には自民党から

大臣を何人か出す。確かに復旧・復興に限ればスムーズにいくかもしれませんが、国政には外交や防衛、医療や年金、経済等々様々な政策がある。その考え方が違う人たちが集まれば、途端に週2回開かれる政府の意思決定機関・閣議の場で、具体的案件について大臣が署名するしないのイザコザがしょっちゅう起こることになる、逆に国政は進まなくなるんですね。だから、みんなの党は大連立に反対です。その代わり、復旧・復興には、先に述べたとおり、現地の「復興院」を通じてしっかり協力する。

ただ、それでも民主、自民が「菅降ろし」のあと大連立するというのなら、それはそれでしょうがない。今、両党が一致しているのは「復興増税路線」くらいですから、それを推進する。一方で、みんなの党は特別会計の埋蔵金等を活用する「増税なき復興」ですから、かえって対立軸が鮮明になる。そして来るべき総選挙で国民に審判してもらえば良いわけです。